



大崎市長が感謝の気持ちを

3月5日 役場内議場

東日本大震災から1年を迎えるのを機に、被災した姉妹都市である宮城県大崎市の伊藤康志市長が町を訪問しました。

議場で開かれた歓迎式典で、伊藤市長は「今年の迅速な支援が心の支えになりました。今後も広域的な絆を深め、災害時に備えていきたい。」と述べました。

義援金などを呼びかけた、復興支援委員会代表で美里町内会の鈴木智久会長(写真左)からは、「福」の字を伊藤市長に贈呈し、大崎市の更なる復興を祈念しました。



町内でいぬぞりイベントを

3月11日 上当別の山林

春を感じる雪原で、犬と飼い主が一体となった「いぬぞり体験会」が行われました。

冬にペットと元気よく遊ぶイベントを是非当別で、町内でペットホテルを運営している中尾園枝さんの発案に、当別青年会議所(12ページで紹介)が意気投合。ネットなどで知人にも呼びかけ、当日は20頭以上が集合しました。同青年会議所では、いぬぞりはきっと道央のメインイベントになると、来年以降の開催も検討しています。



ピカピカの体育館で卒業式

3月21日 当別小学校体育館

当別小学校で第120回卒業式が行われました。

会場の体育館は、今年の6月からの工事で、明るくピカピカに生まれ変わり、初行事が卒業式となりました。プロスポーツ選手、声優、イラストレーター、幼稚園の先生など、卒業生一人ひとりの将来の夢を語ったビデオがスクリーンに映し出され、菊地秀夫校長先生から卒業証書が手渡されました。この日、町内の3つの小学校で卒業式が行われ、179名が中学校へ進みます。